

# 製品安全データシート

作成 2009年 4月 1日  
改訂 2013年 9月 20日

## 1. 化学物質等および会社情報

製品名 : コンパウンド SEC-KB  
 会社名 : 富士技研工業株式会社  
 住 所 : 埼玉県戸田市本町4-2-16  
 担当部門 : 品質管理部  
 電話番号 : 048-434-6401 F A X 番号 048-434-6404  
 緊急連絡先 : 富士技研工業株式会社 戸田工場 電話 048-299-5781

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類対象外	自然発火性液体	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外	自然発火性固体	分類できない
エアゾール	分類対象外	自己発熱性化学品	分類できない
支燃性／酸化性ガス	分類対象外	水反応可燃性化学品	分類できない
高压ガス	分類対象外	酸化性液体	分類対象外
引火性液体	分類対象外	酸化性固体	分類できない
可燃性固体	分類できない	有機過酸化物	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外	金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分5	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	生殖毒性	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない		
急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外		
皮膚腐食性／刺激性	区分2	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	区分1		
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない	水生環境有害性（慢性）	分類できない
-------------	--------	-------------	--------

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 飲み込むと有害のおそれ
- ・ 皮膚刺激
- ・ 重篤な眼の損傷

注意書き :

### 【安全対策】

- ・ 取扱い後、手をよく洗うこと。保護手袋を着用すること。
- ・ 保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 【応急措置】

- ・ 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 皮膚に付いた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

### 【保管】

- ・ 施錠して保管すること。

### 【廃棄】

- ・ 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

---

## 3. 組成および成分情報

単一製品,混合物の区別	:	混合物		
化学名 (又は一般名)	:	界面活性剤	無機塩類	EDTA
成分及び含量	:	18%	13.2%	1%
化学特性 (化学式又は構造式)	:	—	—	C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> O <sub>8</sub> Na <sub>4</sub> ·2H <sub>2</sub> O C <sub>10</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> O <sub>8</sub> Na <sub>4</sub> ·4H <sub>2</sub> O
官報告示整理番号 (化審法)	:	—	(1) —497	(2) —1265
CAS No.	:	—	7758-29-4 68915-31-1	10378-23-1(二水和物) 13235-36-4(四水和物)

---

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水及び石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合：多量の水で15分間以上洗い流した後、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

応急処置をする者の保護：救護者は防毒マスク、ゴーグル、ゴム手袋等の適切な保護具を着用する。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂、霧状水

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性：火災により、刺激性ガスまたは有毒ガスが生成されることがあるので、必ず保護具を着用し、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業時には保護眼鏡、保護手袋等の保護具を必ず着用する。風下の人を退避させる。漏出した場所周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：公共用水域に流さないよう注意する。

除去方法：少量の場合、吸着剤（おがくず、土、砂、ウェス等）で吸着させ取り除いた後、残りは大量の水で洗い流す。  
多量の場合、付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲って流出を防止し、ドラム等に回収する。大部分を回収した後、大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：直ちにロープ等を張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：

技術的対策

- ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- ・接触、吸入を防ぐため適切な保護具（保護衣、安全ゴーグル、防毒マスク、ゴム手袋、ゴム長靴）を着用する。

局所排気・全体換気

- ・ 作業場は必要に応じて換気を行う。

注意事項

- ・ 眼、皮膚、着衣に直接触れないようにする。

安全取扱い注意事項

- ・ 漏れ、溢れ、飛散しないように注意する。取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいを  
する。
- ・ 容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。

保 管：

適切な保管条件

- ・ 密封して換気の良い場所に保管。直射日光を避ける。

安全な容器包装材料

- ・ 製品使用容器に準ずる。

---

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：	界面活性剤	無機塩類	EDTA
	設定されていない	—	設定されていない
許容濃度：	設定されていない	—	設定されていない

設備対策：局所排気を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を  
設置する。

保護具：保護衣、安全ゴーグル、防毒マスク、ゴム手袋、ゴム長靴

---

## 9. 物理的および化学的性質

外観等：茶褐色粉末

pH：—

沸点：データなし

比重：データなし

臭気：なし

蒸気圧：データなし

---

## 10. 安定性および反応性

安定性：通常条件で安定である。

反応性：データなし

避けるべき条件：日光、熱、湿気、強酸化剤

混触危険物質：酸化性物質

危険有害な分解生成物：一酸化炭素、りん酸化物、酸化ナトリウム

---

## 11. 有害性情報

急性毒性：

界面活性剤

LD<sub>50</sub> (経口) 1,199mg/kg  
(経皮) 2,300mg/kg

無機塩類

LD<sub>50</sub> (経口 ラット) 3,053mg/kg

EDTA

LD<sub>50</sub> (経口 ラット) 1,700mg/kg

皮膚腐食性／刺激性：

界面活性剤

- ・経皮投与 背部塗布；15、20、100% (24 時間閉鎖貼付) →100%で軽～中等度の刺激、15、20%で軽度の刺激だが 72 時間後に回復。未希釈での刺激性は中等度～強度 (日本石鹼洗剤工業会リスク評価書)
- ・皮膚刺激性 Xi、R36 (CECIO)

EDTA

80%水溶液をウサギ皮膚に塗布した結果は mild 又は no irritating であった。未希釈では「Xi 刺激性」に分類される。(EU Risk Assessment Report (EU-RAR 2004))

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：

界面活性剤

- ・ウサギ点眼濃度 20～100%；100%で軽から中等度の刺激、15、20%で軽度の刺激だが、72 時間後に回復。
- ・ウサギ、Draize 試験 (OECD405 試験法) 原液では強度の刺激、35 日後も回復しなかった。(日本界面活性剤工業会 2006 年 3 月)
- ・眼刺激性 Xi、R41

EDTA

希釈していない Na<sub>4</sub>EDTA は「R41 眼に重度の障害を与える」とラベルされる。眼刺激に関する動物データは、眼に重度の障害を与えることを示している。(EU Risk Assessment Report (EU-RAR 2004))

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

界面活性剤

感作性なし (モルモット) (日本界面活性剤工業会 2006 年 3 月)

EDTA

データなし

生殖細胞変異原性：

界面活性剤

陰性 (NITE 有害性評価書、p 33)

EDTA

データなし

発がん性：

界面活性剤

記載されていない

EDTA

Na<sub>4</sub>EDTA の発がん性の懸念はないとの記載あり。(EU Risk Assessment Report

(EU-RAR 2004)

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：

データなし

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：

データなし

吸引性呼吸器有害性：

データなし

---

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性

界面活性剤

魚毒性 : (ファットヘッド・ミノ)  $LC_{50}=0.48\sim 12\text{mg/L}$  (96Hr)

残留性/分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : 物理的・化学的性状より、土壌中へ移動しうる。

その他 : データなし

EDTA

魚毒性 : (ブルーギル)  $LC_{50}=374\text{mg/L}$  (96Hr)

(オシジノ)  $EC_{50}=625\text{mg/L}$  (24Hr)

(オシジノ)  $NOEC=25\text{mg/L}$  (21day)

残留性/分解性 : データなし

生体蓄積性 : 生体蓄積性が低いと推定される。

$\text{Log Pow}=-13.7$

土壌中の移動性 : データなし

その他 : データなし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）を遵守し、適正な処理をするように依頼する。

少量の場合は、大量の水に溶解した後、薄い酸で徐々に中和して排水溝に流す。中和時には濃い酸で中和すると発熱が大きく、また、 $\text{CO}_2$  ガスの発生が激しくなり、液が容器から噴出することがあるので、必ず薄い溶液で中和すること。

容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法、及び関係法規・法令を遵守して、適正な処理をするように依頼する。容器は、関連法規ならびに地

方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

海上規制情報：IMDG の規則に従う。

航空規制情報：IATA の規則に従う。

国連分類：該当しない

国連番号：該当しない

##### 国内規制

陸上規制情報：労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上規制情報：規制なし

航空規制情報：規制なし

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物  
(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)

毒物劇物取締法：該当しない

化学物質管理促進法：該当しない

海洋汚染防止法：該当しない

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)

消防法：該当しない

毒物劇物取締法：該当しない

船舶安全法：該当しない

航空法：該当しない

化学物質管理促進法：該当しない

海洋汚染防止法：施行令別表第 1 有害液体物質（Y 類）

---

#### 1 6. その他の情報

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作

成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常取扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分でありませので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

#### 参考文献

化学品安全管理データブック

化学工業日報社

化学大辞典

共立出版株式会社

化学品法令集

化学工業日報社

安全衛生情報センター

<http://www.jaish.gr.jp/>

製品評価技術基盤機構

<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

---